

発熱外来

当院は広島県より指定を受けた PCR 検査および抗原検査を受けられる診療所です

かぜ症状・発熱のある患者様におかれましては診療の上、必要に応じて保険適応(3割～1割)での新型コロナウイルス PCR 検査・抗原検査・インフルエンザ検査を同時に行うことが可能です。

当院の発熱外来を受診ご希望の方は予約は必要ありませんが、お電話の上お越しください。

当院は感染防止対策も徹底して行っております。

当院は新型コロナウイルス検査とインフルエンザ検査を同時に行うことができます

インフルエンザと新型コロナは同時感染することがあります。インフルエンザが流行りはじめると新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの初期症状が似ているため、医師が診察の上、インフルエンザが疑われる場合にはコロナウイルス検査とあわせてインフルエンザ検査も同時に行います。インフルエンザ検査は専用キットにて行い、検査結果は15分程度で判明します。

PCR検査・抗原検査の費用について

抗原検査及びPCR検査は70歳未満の方は3割負担です。初診の場合お薬も含めておおよそ4000円ほどかかります。

インフルエンザの治療について

抗インフルエンザウイルス薬の服用を適切な時期(発症から48時間以内)に開始すると、発熱期間は通常1～2日間短縮され、鼻やのどからのウイルス排出量も減少します。

医師が必要であると判断した場合、症状に合わせてタミフル、リレンザ、イナビルなどの治療薬を処方いたします。

新型コロナウイルス感染者の治療について

ゾコーバ・パキロビッド等の新型コロナウイルス用の薬は症状に合わせて医師が必要であると判断した場合処方いたします。

ゾコーバ

軽症者向けの日本製の治療薬です。

副作用も殆どなく（1%程度）、後遺症リスクの軽減、症状の早期軽減が期待できます。

薬剤費は自己負担割合に応じて窓口負担が生じます。

（3割・2割・1割の方：それぞれ15,500、10,400、5,200円）

併用できない薬剤がありますので、お薬服用中の方はお薬手帳をご持参ください。

パキロビッド

重症化を予防する効果が期待できます。

重症化リスク因子のある方が対象です；60歳以上、喘息、糖尿病、癌、慢性腎臓病、高血圧、慢性的肺疾患、免疫抑制剤服用中、心筋梗塞後・脳梗塞後、BMI>25、喫煙など。

薬剤費は自己負担割合に応じて窓口負担が生じます。

（3割・2割・1割の方：それぞれ29,700、19,800、9,900円）

併用できない薬剤がありますので、お薬服用中の方はお薬手帳をご持参ください。